



五福っ子



令和8年6月12日発行 No.7

音楽を楽しく 全身で表現

第五福田小学校では、学期に2回程度、音楽朝礼を行っています。6月は、6年生の担当で、8日(月)に行われました。6年生が披露したのは、ジャズの名曲「茶色の小びん」にのって、体や身近な道具や楽器を使ったリズム演奏でした。



最初は、全身を使ったボディーパーカッションでした。手を打つこと・手拍子はよく使われる表現ですが、ももやひざを打ったり、指を鳴らしたり、ジャンプをしたりと、体のあらゆる部分を使って音を出していました。

次は、紙コップを使った、カップスの演奏でした。

カップを机に置くときや上からたたく時に出る音で、表現しました。ただ持ち上げたり置いたりするだけではなく、腕を交差させて置いたり、カップを2個使ったりして、見ている人が楽しめるように工夫がしていました。最後は思い思いの決めポーズ！



その次は、楽器で演奏するグループでした。鍵盤ハーモニカで演奏するメロディーにのせて、鈴、タンバリン、ギロ、カスタネットなど、音色の異なる様々な打楽器で、いろいろなリズムと音色を楽しみながら演奏しました。

最後には、それら全てをミックスして、愉快で元気な演奏を披露しました。

6年生の演奏を満喫した後は、全校で5月の歌「ジャンプ」を元気よく歌い、爽やかな気持ちのよい一週間のスタートを切ることができました。

